

山田ホムベノ製粉退却争議の件

大 島 氣 天 浪 颯  
謝職會常務理事

名古屋出張所 大 署 蔵 兼

昭和十年一月四日

号發業 一六 號

謝職會聯合  
 事務部  
 昭和十年一月四日  
 大島氣天浪颯  
 發主ノ人 署名ノ人

財団法人謝職會名古屋出張所  
財団法人協調會名古屋出張所

山田ボンブ製作所争議の件

所在地 名古屋市西區則武町御臺所九〇一  
 名 稱 山田ボンブ製作所 代表者 山 田 眞 一  
 發生、解決自昭和十年一月七日 至一月十二日  
 參加者 二十名（全員二十三名）  
 工場側は輸出統制（南洋輸出）の爲に昭和九年九月頃より四千八百  
 百余圓の決損をなしたりとて昭和十年一月七日、型込部従業員十  
 三名の一割値下を言渡したのである。  
 これに對して従業員は昨年十月一割値下を承認して居り今又一割  
 の値下をなすことは絶対反對なりとして直に罷業に入り更に鍋仕  
 上部の七名も同情罷業に入り、思想団体（全協系鮮人団体）文化  
 普及會の申山祝、勞農救援會名古屋支部準備會石川友右衛門等の  
 應援を得て八日午后三時次の如き要求をなした。

要 求 書